

公募の流れ

一次審査 書類選考 2021年12月5日(日)必着

二次審査 オンライン面接 2021年12月18日(土)or 20日(月)

..... 滞在者3~5名(組)を採用 / 滞在計画に関する打ち合わせ等

滞在 2022年1月20日(木)~3月11日(金)

期間のうち3日以上(支援金として1組あたり最大7日分の活動費の支給あり*)
※支援内容については中面をご確認ください。



..... まちなか活動プラン提案

公開プレゼンテーション 最終審査会 2022年3月21日(月・祝)

選ばれたアクションプランは次年度実施します! ※採用なしの場合もあり。

秋田市文化創造館が目指すまちなかでの展開

次年度以降、様々な視点から実験的な活動が展開されることを目指しています。

- ・秋田市中心市街地にある「まちの余白」を活用する活動
- ・まちなかでクリエイターや表現者が活動する場の創出
- ・秋田に暮らす人・自分らしい表現を探している人の創造力を刺激する取り組み



植村宏木「もの考-秋田-」
Photo Ryohei Suga

松田朕佳・雨宮澤
「865mm×1578mmの7連サインージと
15m×7.5mのトピコの壁を水に浮かべる」
Photo Yu Kusanagi

内田聖良「余白書店 公開審査会
@ABSラジオ」
Photo Yu Kusanagi

お問い合わせ

秋田市文化創造館

TEL 018-893-5656

E-Mail program@akitacc.jp

〒010-0875 秋田県秋田市千秋明徳町3-16

開館時間 9:00~21:00

休館日 火曜日(休日の場合は翌日)、12月29日~1月3日

<https://akitacc.jp>

オンライン (Zoom) 説明会



上記QRコードから申し込み
フォームへ(メールにて参加
URLをお知らせします。)

秋田市文化創造館・
中心市街地エリアの紹介、
「SPACE LABO 2021」の
概要説明、質疑応答

日時 どちらも内容は同じです。

①11月18日(木)

19:00~20:30

②11月21日(日)

15:00~16:30

※新型コロナウイルスの感染拡大状況をみながら、安全・安心面を最優先に考慮しプログラムを実施いたします。

スペースラボ 2021

土地にふれて考える

クリエイター・企画者を

募集します!

主催 秋田市文化創造館

応募〆切
2021年
12月5日(日)
必着!

クリエイティブな視点で まちなかを活用する プランを考える

「SPACE LABO 2021」では、
秋田市文化創造館や秋田市中心市街地エリアを拠点に**1週間程度滞在し**、
「まちなか活動プラン」を考えるクリエイターや企画者を県内外から募集します。
秋田市文化創造館に関わってみたい方、中心市街地でやってみたい企画がある方、
発表の機会や場所を探している方などを対象としています。
採用者は、現地滞在での気づきを踏まえて**実施したい企画を最終審査会にて発表**。
これらのプロセスを経て、審査員およびコーディネーターが**次年度実施するプラン**を決定します。

※採用プランなしの場合もあり

滞在エリア 秋田市文化創造館とその周辺について

2021年3月に開館した秋田市文化創造館は、久保田城跡にある秋田市指定名勝の都市公園である千秋公園の入り口に位置しています。2013年まで46年間秋田県立美術館として市民・県民に愛された建物は、多様な文化活動との出会いの場を提供し、自ら創作活動を行う方、新たな活動をはじめようとする方を応援する公共の文化施設として生まれ変わりました。周辺1km圏内には、秋田県立美術館や秋田アトリオン音楽ホールなど文化芸術に関する見所が点在し、交通の拠点となる「秋田駅前エリア」、藩政時代は商業の中心地として栄え今なお昔ながらの商家が残る「大町・通町エリア」、旭川沿いには川反飲食店街が連なり、多様な機能をもった複数のエリアにより構成されています。そんな、秋田市文化創造館および中心市街地を拠点とした滞在中を通じて、活動の種を見つけていただければと思います。



お堀と秋田市文化創造館



秋田市文化創造館内「クリエイター・イン・レジデンス 2021」の様子



旭川沿い



秋田駅前

滞在中の目的イメージ

とりあえず滞在し、
周囲を知るところからはじめる。

いろんな人との交流をはかる。

まちなか活動プランのための
実験をおこなう。

テーマに基づいた
リサーチやフィールドワークを
おこなう。

設置物・掲示物を置く、
パフォーマンスをするなどし、
まちの反応を収集する。

まちなかの発表の場・
活動の場(＝「まちの余白」)を探す。

and more...

対象者

秋田市文化創造館に
関わってみたい方

中心市街地で
やってみたい企画が
ある方

ひとりでは
できない展開を
模索したい方

発表の機会・場所を
探している方

普段と異なる環境に
身を置いて何かを
生み出したい方

居住地不問

年齢不問

個人・団体の別不問

応募条件

- 2022年1月20日～3月11日の期間に、秋田市文化創造館及び秋田市中心市街地を拠点に3日以上滞在できること
- 2022年3月21日(月・祝)の最終審査会に参加できること
- 次年度中に実現したいまちなか活動プランを計画できること

支援について

- 滞在期間の活動費の支給: 10,000円/日・人(グループの場合は代表者1名に支給)
※活動費支給にあたり、簡単な日報の提出をお願いします。
※活動費の支給は上限7万円までとなります。
- 滞在中に宿泊場所が必要な場合は素泊まりの宿の提供も検討します(空き状況により条件など要相談)。
- 必要に応じて、秋田市文化創造館のコーディネーターが滞在中のサポートをいたします。

応募の流れ

応募書類

- 履歴書・滞在計画書(所定書式)
※ウェブサイトよりダウンロードして使用してください。
- 応募者の興味関心やこれまでの活動を補足する資料(任意)
ポートフォリオ、これまでの活動資料、動画など
- まちなか活動プランのイメージ(任意)



応募方法

ウェブサイトからフォーム入力、
またはメール・郵送にてご応募ください。

ウェブサイト

メール program@akitacc.jp

※応募後に受付完了メールが届かない場合はお問い合わせ先までご連絡ください。

郵送 秋田市文化創造館
〒010-0875 秋田県秋田市千秋明徳町3-16
「SPACE LABO 2021」担当者宛

応募必切
2021年
12月5日
必着!

一次審査(書類選考)

応募後のスケジュールは裏面をご確認ください。

審査基準

これまでの活動実績をふまえ、
創造力を刺激する
実験的な活動が期待できるか

新しいまちの使い方の
提示ができるか

採用について

- ・3～5名(組)選出
- ・採用者には滞在中の支援あり

審査員 文化創造館のコーディネーターも審査に参加します。



川勝 真一 建築リサーチャー、RAD

建築に関する展示会のキュレーションや出版、市民参加型の改修ワークショップの企画運営、行政への都市利用提案などの実践を通じ、建築と社会の関わり方、そして建築家の役割についてのリサーチをおこなっている。

RAD(Research for Architectural Domain) <https://radlab.info/>



ユカリロ編集部 高橋希・三谷葵

「ふつうの人のふつうの暮らし」をテーマにした小冊子「ユカリロ」を発行する。2014年活動スタート。メンバーはカメラマンの高橋希と編集者の三谷葵。現在は地元紙での責任編集ページの編集や、秋田市文化創造館内での物販など活動の幅を広げている。

<https://yukariro.jimdofree.com/>



藤 浩志 美術家 秋田公立美術大学大学院教授 秋田市文化創造館館長
京都市立芸術大学大学院美術研究科修了後、バプアニューギニア国立芸術学校講師、都市計画事務所勤務を経て美術家として活動。東北と九州を拠点に様々なフィールドで新しいプロジェクトを模索する。

<https://www.fujistudio.co>